

# 津奈木町



山田 豊隆 町長

本町は熊本県の最南部に位置しており、西側は九州の地中海と呼ばれる穏やかな不知火海に面し、県立自然公園にも指定された美しいリアス式海岸が続いています。その海岸線近くまで迫る山の段々畑では、温暖な気候を利用して甘夏やデコポンの果樹園が広がっており、湾内ではタイやフグ、ヒラメなどの養殖が行われています。町の特徴的な取り組みとしては、昭和59年から40年近くにわたり、アートによるまちづくりを進めています。

- 寄付御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額100万円以上)
  - ・感謝状贈呈(寄付額10万円以上)
  - ・地公体広報誌掲載
  - ・HP掲載
  - ・視察受入
  - ・功労者表彰推薦
  - ・紺綬褒章推薦
  - ・その他

人口	面積	産業構造	交通アクセス
総人口……4,254人 男……1,993人 女……2,261人 世帯数……1,687世帯	総面積……34.08km <sup>2</sup> 農用地……2.85km <sup>2</sup> (8.4%) 森林……21.81km <sup>2</sup> (64.0%) 宅地……1.22km <sup>2</sup> (3.6%)	第1次産業……473(5.6%) 第2次産業……1,662(19.7%) 第3次産業……6,295(74.7%) <small>生産総額:百万円</small>	津奈木町役場まで 南九州西回り自動車道 津奈木ICから……約5分(約4km) JR 新水駅から……約5分(約4km) 肥薩おれんじ鉄道 津奈木駅から……約2分(約1km)
人口構成比	教育機関	工業団地	
15歳未満……10.9% 15～64歳……46.9% 65歳以上……42.3%	小学校……1校 中学校……1校 高等学校・高専……— 大学・専門学校他……—	津奈木工業団地	



※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

## 津奈木町まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 住みたくなるまちづくりの実現を

(SDGs)関連するゴール



#### 1 基本目標 稼げるまちをつくとともに、安心して働けるようにする

本町の基幹産業である農林水産業を稼ぐ産業に転換させるとともに、地域資源等を活用した新産業を創造し、安定した雇用を生み出す。

#### 2 基本目標 世界とつながり、津奈木町への新しいひとの流れをつくる

関係人口の構築をテーマにした情報発信や交流事業を世界に向けて行うことで、応援したくなる・訪れたくなる・住みたくなる人を増やす。

#### 3 基本目標 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

子どもからお年寄りまで健康でいきいきと活躍することができるよう、保健医療、福祉、教育分野における各種サービスの充実を図る。

#### 4 基本目標 ひとが集う、安心して暮らせる魅力的なまちをつくる

必要な生活基盤や社会システム等を整備するとともに、暮らしの豊かさを基準とした地域コミュニティづくりを推進する。

## 津奈木町

### 新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1  
産業振興・  
企業誘致

#### 1 課題 柑橘のブランド化と熱帯果樹の産地化

デコポンなど柑橘類のブランド化や、新規事業である熱帯果樹(国産アボカド等)の産地化による新たな農業経営モデルを確立するためには、更なるブランド化の取り組みや栽培技術の確立等が課題です。



国内流通量の1%にも満たない国産アボカド

企業様へ  
▶ 中山間地における農業経営の安定化は、全国に点在する過疎地の共通課題でもあります。民間企業の経営資源を活用し、この難題に挑みませんか?

2  
産業振興・  
企業誘致

#### 2 課題 農林水産物の販路拡大と新商品・サービス開発

中山間地における担い手の減少や生産量減少に対応した農林水産業者の経営安定化を図るためには、生産物の高付加価値化を実現しなければなりません。そのため、市場競争力のある高品質なもののづくりをいかに進めるかが課題です。



津奈木産牡蠣を使用したバジルソース

企業様へ  
▶ 民間企業のノウハウを活用し、担い手の高齢化や生産量の減少を逆手に取った「小さくて強い農林水産業」の実現を目指しませんか?

3  
まちづくり

#### 3 課題 住民参画型アートプロジェクトの推進

水俣病からの地域再生と魅力ある文化的空間の創造を目的に始まった本町のアートによるまちづくり。人口減少時代における地方創生を実現するため、アートのまちとしての更なる認知度向上や交流促進が課題です。



つなぎ美術館と舞鶴城公園を結ぶモノレール

企業様へ  
▶ 民間が持つ発信力やネットワークを活用し、地方の小さな町立美術館の取組を発信することで、都市部と地方との文化的格差の解消に繋がります。

4  
観光客の誘致・  
地域PR

#### 4 課題 働き方の変容にも対応した、新たな観光地づくり

本町は観光地ではありません。しかし、海、山、川の美しい自然環境を土台として、環境配慮型農業やスローフード、アートの取り組みを有します。それら資源を活かしつつ、働き方の変容にも対応した、新たな観光地づくりが課題です。



県立自然公園指定の美しいリアス式海岸

企業様へ  
▶ 民間企業が持つノウハウやネットワークを活用することで、地域と共に健全に発展する観光地づくりを目指したいと考えています。

重点プロジェクト

持続可能な中山間地をつくる、まちづくり商社の設立を

総事業費 113,500千円 寄附目標額 —  
 数値目標 ●雇用創出数………10人  
 起業・業務拡大件数………10件



背景・現状の課題

本町は典型的な中山間地域であり、広い農地を持っていないことなどから、基幹産業でもある第一次産業の振興においては、大規模化による経営効率化等が困難な地域である。更に、消費地でもある大都市部への距離もあり、物流経費が高むことから他産地との価格競争では優位に立つことが難しい。

持続可能なまちづくりのための財源を確保するには、都市部販路の拡大や交流人口の拡大等により外貨を稼ぐことが必要であるが、上記のような立地条件等を克服し、且つ、訴求力ある商品・サービスを創出し発信できる事業体が不在である。



海に続く山の斜面で栽培される柑橘類

事業の目的・内容

津奈木町の温暖な気候で育まれた農林水産物や、それらを活用し生み出された商品・サービス等の販路拡大を図るため、新たな事業推進体として町産品のブランディングや営業・販売を専門的に行うまちづくり商社を設立し、町おこしにつながるあらゆる事業を推進することで「稼げるまち」を実現する。

また、事業推進に当たっては、これまで連携が手薄であった地域づくりや観光分野との連携も強化し、魅力ある地域資源の開発と効果的な情報発信を行うことで、アフターコロナ時代の交流・関係人口の増加を基礎とした魅力あるまちづくりを推進する。

- まちづくり商社の設立プロジェクト  
持続可能なまちを実現するためのまちづくり総合商社の設立事業
- 観光交流、関係人口創出プロジェクト  
町の取組みへの共感をベースにした交流創出事業
- 農林水産資源等を活用した新商品・サービス創出プロジェクト  
生産量の減少を逆手に取った高品質なものづくり支援



支援事業で開発した新商品（一部）

寄附の具体的なメリット

観光地でもなく知名度もない中山間地域の本町で、持続可能な地域経営モデルを官民共同で創出することは、全国に点在する過疎地・中山間地の希望になる事業になると考えます。事業の進捗等については、随時、町ホームページ等で情報発信します。

寄附申出書の事業名選択時は「新しいひとの流れをつくる事業」を選択してください。

重点プロジェクト

つなぎ温泉四季彩周辺のエリアリノベーション構想推進事業

総事業費 587,000千円 寄附目標額 —  
 数値目標 ●観光入込客数の増………135,923人→180,000人  
 ●観光入込客数(宿泊)の増………0人→3,480人(年間)



背景・現状の課題

津奈木町では、これまで40年近くにわたり取り組んできたアートのまちづくりに加え、食（スローフード）をテーマにした交流事業に取り組むなど、交流・関係人口の増加に向けた取組みを進めてきた。しかしながら、町内には民間事業者も含め宿泊施設がないことから、来訪者の滞在時間が限られるだけでなく、旅行先としても選ばれにくい状況が続いている。

町内への生産波及効果を高め、持続可能なまちづくりを実現するため、美術館や物産館など町の主要観光施設が集約しているつなぎ温泉四季彩エリア一帯への宿泊施設の設置を軸としたエリアリノベーションを推進する必要がある。



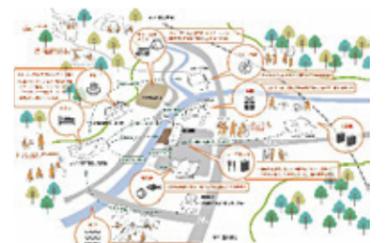
現在のつなぎ温泉四季彩

事業の目的・内容

九州新幹線や南九州西回り自動車道の開通により関西や福岡都市圏などからのアクセス性は飛躍的に向上したものの、本町における充実した滞在を実現するためには、町内での宿泊や域内周遊性の確保等によって来訪者の滞在・滞留時間を延長させるハード・ソフト両面の取組みが必須である。

そのため、拠点性の高い町中心部に新たに宿泊施設を整備するとともに、そこを起点とした域内周遊性を高めるためのエリアリノベーションと魅力ある観光地域づくりを推進し、交流拡大と滞留時間の延長を軸とした地域活性化を図る。

- つなぎ温泉四季彩周辺への宿泊施設整備を軸としたエリアリノベーション推進  
町内各拠点との接続性の向上、ランドスケープ整備、滞在・滞留時間拡大を実現するための基盤整備
- 施設整備と連動した観光地域づくりの推進  
来訪者の滞留時間に対応した観光コンテンツ提供を可能とするためのソフト展開



エリアリノベーション構造図

寄附の具体的なメリット

観光地でもなく知名度もない本町における町周辺部のエリアリノベーションを官民共同で実施することは、全国に点在する過疎地の中心市街地活性化モデル事業となります。事業の進捗等については、随時、町ホームページ等で情報発信します。

寄附申出書の事業名選択時は「新しいひとの流れをつくる事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。